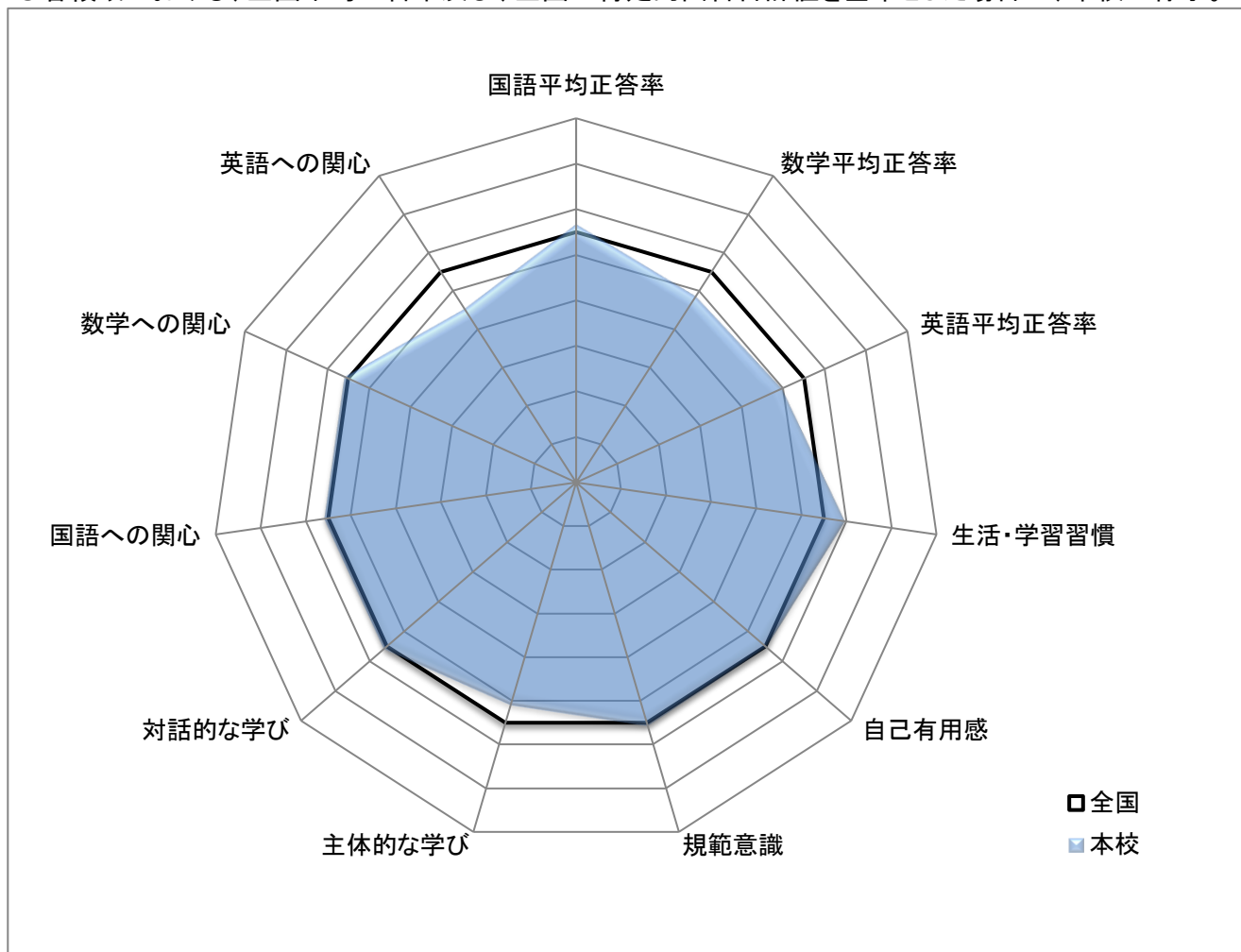


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

チャートの特徴で分析したとおり、与えられた家庭学習には真面目に取り組むが、授業の内容を理解するまで至っていない。自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むなど主体的な学びが課題である。
 本校は部活動や行事などに積極的に取り組んでいる生徒が多く、生徒会を中心とした自治活動も盛んである。この良さを生かし、数学・英語を中心として主体的に自分の考えを深めさせることが重要な課題である。

《授業改善のポイント》

現状把握の項でも述べたとおり、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むなど主体的な学びが課題である。
 本校は4人組のグループ学習を取り入れている。グループ学習は分からない部分を周囲に聞く習慣をつけ、対話的な学びにつながっている。主体的な学びにしていくには、授業におけるグループ学習の推進はもちろんのこと、各教科担当が授業内容を検討し、適切な学習課題を提示することが必要である。とともに、総合的な学習の時間や読書科で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する取組を取り入れていくことも必要である。

《チャートの特徴》

11項目中7項目で全国の前平均値より高い。特に生活・学習習慣の項目では平均を大きく上回っており、毎日家庭学習ノート用いた学習を行っている効果が出ている。一方で数学・英語の平均正答率や英語への関心、主体的な学びが平均を下回っている。数学や英語が必要であることは理解しているが、内容を把握できていない生徒が多い。また、与えられた課題には真摯に取り組むものの、主体的に学んでいこうとする姿勢がまだまだ不足しているようである。

《家庭・地域への働きかけ》

学力向上のためには、生徒自ら学ぶことと家庭学習習慣の継続が必要である。小学校に引き続き中学校でも家庭学習に取り組む続けるよう生徒だけでなく保護者にも呼び掛けていく。